

小水力等農業水利施設利活用促進事業の概要

【990(1,740)百万円】

- 農村地域における小水力等の利活用を積極的に支援し、農業水利施設の適切な機能発揮を図るとともに、農村地域の新たな価値の創出や活性化を促進する。

農村地域における小水力等の利活用状況と課題

現 状

- 近年、農村地域では、過疎化、高齢化、混住化が進行し、地域の共同活動が困難になり、農業水利施設の適切な機能発揮に支障
- 農村地域には小水力等が豊富に賦存し、これらを有効に利活用することにより、農業水利施設の適切な機能発揮を期待

課 題

農村地域に豊富に賦存する小水力等を利活用し、農業水利施設の維持管理費節減を図り、農業水利施設の適切な機能を発揮させる。

農村地域に賦存する小水力等の利活用を推進するため、以下の支援を実施

1. 小水力等農業水利施設利活用支援事業

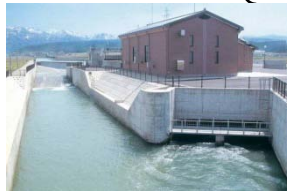
小水力等の利活用の促進による農業水利施設の維持管理費節減のため、小水力等利活用施設の導入可能性の検討、調査設計、関係法令等に係る協議、事業効果の算定等の取組を支援

補助率: 定額、1/2

事業実施主体: 地方公共団体、農業者が組織する団体等



農業水利施設に設置した太陽光発電



農業水利施設を活用した小水力発電



農業水利施設に供給する風力発電

2. 小水力等農業水利施設利活用実証支援事業

小水力等の一層の利活用を促進するため、低コスト小水力発電施設の導入等に向けた実証試験や集落排水資源の利活用推進に係るモデル実証等の取組を支援

補助率: 定額、1/2

事業実施主体: 地域協議会、民間団体等

低落差や小流量で利用可能な低コストの小水力発電施設を実証



安定的な取水、及び施設の安全性確保等のため、流速を抑える目的で落差工を設け、エネルギーを減勢



落差工に小水力発電施設を設置し、減勢させていたエネルギーを有効活用

平成25年度までに年間発電量約4千万kWhの小水力等利活用施設を事業化し、農業水利施設の維持管理費節減を図る